

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
32022	X-21-B-1-320229	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
中国語 1 cB	姜 杰裕			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	×
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	×		

授業目的

発音と声調が中国語習得の難関だと言われている。それを克服するために前期は発音、声調、ピンインを重点において、繰り返し練習を重ね、ピンインと声調が正しく聞き取れ、書ける。その上に正しく発音できるようにする。また中国語の基本的な文の構造を理解し、簡単な会話と読解の能力を身につけ、以後の更なる中国語学習の基礎を築く。

各回毎の授業内容

第1回

【授】中国語について簡単紹介 単母音。
【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。

第2回

【授】複母音・声調記号のつけ方
【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。

第3回

【授】子音①
【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。

第4回

【授】子音②・声調の変化・軽声・ル音化
【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。

第5回

【授】発音の総復習・確認テスト
【前・後】付属のCDを利用して発音練習と書き取りを行う。ここまでのピンインと声調の総復習を行う。予習復習に4時間。

第6回

【授】「初対面 1」
【前・後】付属のCDを利用して本文が暗記できるほど音読する。単語の書き取りを行う。テストで指摘されたところを重点に復習。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。

第7回

【授】「初対面 2」
【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の音読練習、書き取りを行う。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。

第8回

【授】指示代名詞の使い方・疑問文
【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。

第9回

【授】「買い物」 数量詞①
【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習と書き取りを行う。1～100までの数字を流暢に言えるように繰り返し練習する。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。

第10回

【授】「家族」 数量詞②
【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。数量詞を中心に聞き取りと言う練習を繰り返す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。

第11回

【授】復習・確認テスト
【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。ここまでの内容をまとめ総復習を行う。予習復習に4時間。

第12回

【授】形容詞の使い方・所有と存在の文法
【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。

第13回

【授】時間①
【前・後】付属のCDを利用して単語と本文発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。

第14回

【授】時間②
【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。ここまでの総復習を行う。予習復習に4時間。

第15回

【授】口頭発表・総復習
【前・後】これまで習った文法や単語を用いて、中国語で自己紹介文を書いて発表する。ここまでの総復習をする。予習復習に4時間。

第16回

【授】口頭試験・筆記試験
【前・後】今まで学習した内容を総復習する。予習復習に4時間。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							40
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							20
成果発表(口頭・実技)							20
演習							
その他							

発音、四声の正しさ、ピンインの読み書き能力を重視する。授業時間を有効利用して、正しい発音を身につけるために、積極的に授業に参加することを求める。成績は口頭試験、リスニング試験、筆記試験、口頭発表と出席率、授業態度により総合的に評価する。テストは採点を返却し、解説を行う。また、口頭発表を採点して、改善点を指導する。

教科書参考書

『新・ゼロから学ぶ中国語一検定試験合格への道のり』 著者 周一川・郭海燕・賈曦 (同学社)

受講に当たっての留意事項

中日辞典(紙媒体ないし電子辞書)を必ず持参すること。
授業状況により予定を調節する可能性がある。

学習到達目標

発音と四声の徹底した練習を通して、ピンイン符号の読み書きが正確にできるようにする。簡単な自己紹介が流暢に話せ、簡単な日常会話ができるように 中国語を話す、聴く、読む、書くための基礎能力を身につける。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
32022	X-21-B-1-320229	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
中国語 1 cA	姜 杰裕			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	×
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	×		

授業目的

発音と声調が中国語習得の難関だと言われている。それを克服するために前期は発音、声調、ピンインを重点において、繰り返し練習を重ね、ピンインと声調が正しく聞き取れ、書ける。その上に正しく発音できるようにする。また中国語の基本的な文の構造を理解し、簡単な会話と読解の能力を身につけ、以後の更なる中国語学習の基礎を築く。

各回毎の授業内容

第1回 【授】中国語について簡単紹介 単母音。 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。	第9回 【授】「買い物」 数量詞① 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習と書き取りを行う。1～100までの数字を流暢に言えるように繰り返し練習する。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。
第2回 【授】複母音・声調記号のつけ方 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。	第10回 【授】「家族」 数量詞② 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。数量詞を中心に聞き取りと言う練習を繰り返す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。
第3回 【授】子音① 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。	第11回 【授】復習・確認テスト 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。ここまでの内容をまとめ総復習を行う。予習復習に4時間。
第4回 【授】子音②・声調の変化・轻声・ル音化 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。	第12回 【授】形容詞の使い方・所有と存在の文法 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。
第5回 【授】発音の総復習・確認テスト 【前・後】付属のCDを利用して発音練習と書き取りを行う。ここまでのピンインと声調の総復習を行う。予習復習に4時間。	第13回 【授】時間① 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。
第6回 【授】「初対面 1」 【前・後】付属のCDを利用して本文が暗記できるほど音読する。単語の書き取りを行う。テストで指摘されたところを重点に復習。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。	第14回 【授】時間② 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。ここまでの総復習を行う。予習復習に4時間。
第7回 【授】「初対面 2」 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の音読練習、書き取りを行う。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。	第15回 【授】口頭発表・総復習 【前・後】これまで習った文法や単語を用いて、中国語で自己紹介文を書いて発表する。ここまでの総復習をする。予習復習に4時間。
第8回 【授】指示代名詞の使い方・疑問文 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。	第16回 【授】口頭試験・筆記試験 【前・後】今まで学習した内容を総復習する。予習復習に4時間。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							40
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							20
成果発表(口頭・実技)							20
演習							
その他							

発音、四声の正しさ、ピンインの読み書き能力を重視する。授業時間を有効利用して、正しい発音を身につけるために、積極的に授業に参加することを求める。成績は口頭試験、リスニング試験、筆記試験、口頭発表と出席率、授業態度により総合的に評価する。テストは採点を返却し、解説を行う。また、口頭発表を採点して、改善点を指導する。

教科書参考書

『新・ゼロから学ぶ中国語一検定試験合格への道のり』 著者 周一川・郭海燕・賈曦 (同学社)

受講に当たっての留意事項

中日辞典(紙媒体ないし電子辞書)を必ず持参すること。
 授業状況により予定を調節する可能性がある。

学習到達目標

発音と四声の徹底した練習を通して、ピンイン符号の読み書きが正確にできるようにする。簡単な自己紹介が流暢に話せ、簡単な日常会話ができるように 中国語を話す、聴く、読む、書くための基礎能力を身につける。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習